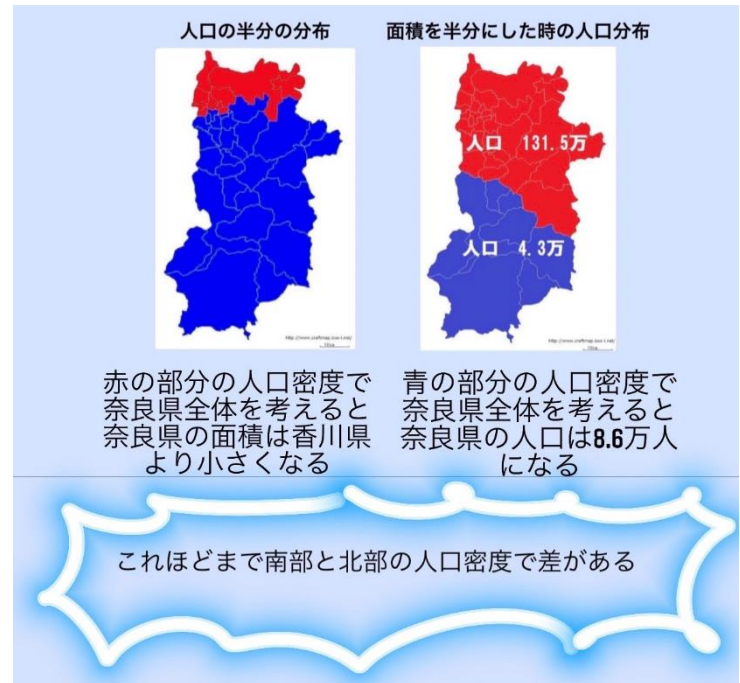
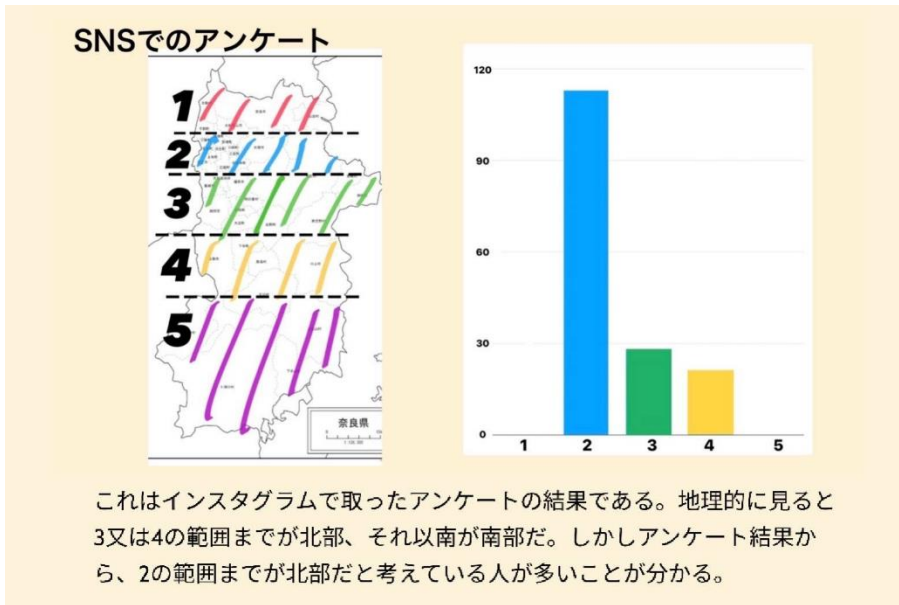


奈良の実状 ～北部と南部の格差～

2組 9班 石田 岡本 鳥見 西村 松本 森岡

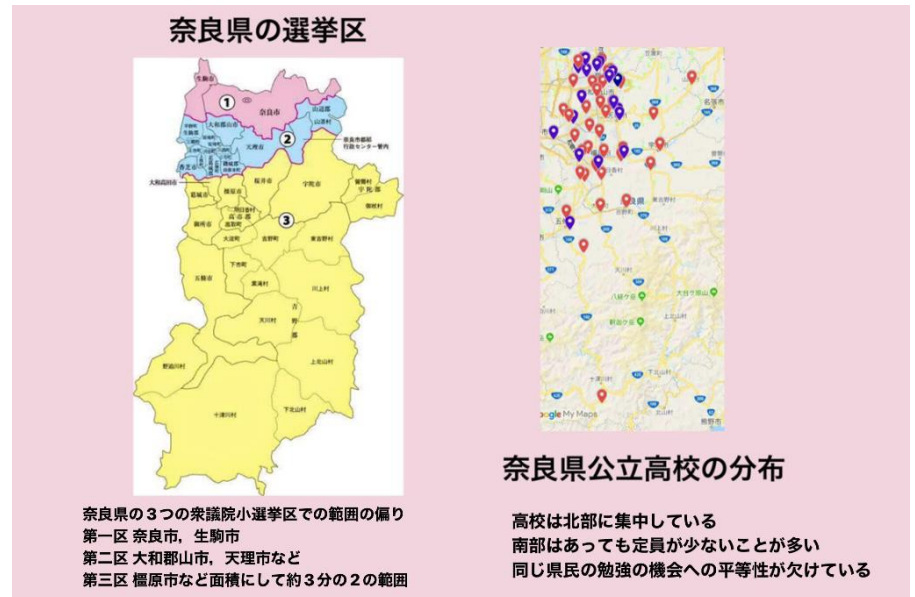
1. 目的 奈良県の地域格差を理解し、
どうしたらこの格差は解消されるのかを考える。
2. 仮説 北部は都会・南部は田舎なイメージがあったり、北部民と南部民の間で話の
すれ違いが起きたりするので、何らかの差があるのではないかと思う。
3. 方法 インターネット、SNSを使って調べる。
4. 結果



市町村別都会度ランキング

都会度	地域名	小売店	飲食店	大型小売店
1	奈良市	2480	1430	53
2	橿原市	1063	455	24
3	大和郡山市	641	245	20
4	生駒市	592	281	14
5	桜井市	594	229	11
35	御杖村	24	3	0
36	上北山村	15	2	0
37	下北山村	12	4	0
38	黒滝村	14	1	0
39	野迫川村	8	3	0

上位にはやはり北部の市が並び、下位にほど南部に位置する市町村が多くなっている
小売店の数を見ても大きな差があるとわかる



5. 考察
栄えている所は経済がより発展し成長し続けるが、栄えていない所は栄えていないからこそ人口も少なく経済がより衰退してしまう、といった『[負のサイクル](#)』に陥っている。
こうした問題には、地域全体で改革をする必要がある。

6. まとめ、感想
奈良県の南北格差は奈良県民全員で考えるべき！
むやみに施設だけ作って行くのではなく、それに伴い、交通網や政治面も発展させ、住みやすい場所へ！

7. 参照
<https://j-town.net/2016/12/01235846.html?p=all>
<https://www.pref.nara.jp/2872.htm>